

国語

名前

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 第16回 宿題その一 [知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。]	
② 第16回 宿題その二 [空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
③ 第16回 宿題その三 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。]	
④ 第16回 宿題その四 [() の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑤ 第16回 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	
⑥ 漢字練習プリント11~14を進める(次の国語授業で12の漢字テストを行います。)	
⑦ 知識プリントことわざ1・反対語1を少しずつ進めていくこと(第3回G模試の範囲になります。)	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第16回 授業で解いた設問の復習 [記号選択] (授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいでしょう。)	
② 第16回 授業で解いた設問の復習 [記述] [講師から指示のあったチャレンジ問題] (×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。)	

語彙動画

語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を紹介しています。動画を見ることが宿題というわけではないですが、動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。



語彙コント

語彙動画の視聴を習慣化して、楽しく語彙を増やしましょう。
毎朝1本ずつ見るとよいでしょう。

担当からの連絡

今回は、岡田淳『放課後の時間割』の最初の部分を扱いました。続きは授業では扱いませんが、お薦めの本の一冊ですので、読んでみるのもいいでしょう。短編がいくつか合わさった形をしているので、1話ずつ読ませ、どんな話だったかを伝えさせてみる(あまり本人が嫌がらない程度に)という読ませ方も考えられます。

この本がそうなるか、という点では個人によって異なるかとは思いますが、「没頭して読む」経験は、本に書いてある情報を取り入れるという効果の他に、読むスピードを向上させるという副次的な効果も生み出します。生徒たちには、(時間があるうちに)是非「自分と合う本」を探してほしいと考えています。